

平成23年度主要施策等一覧

平成23年2月
(◎=新規 ☆=拡大)

1 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

- ☆ ① 特別支援教育業務経費(③行政P15) 14,700千円
 LD（学習障害）やADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症などの障がいのある児童・生徒を支援するため、特別支援教育支援員を平成20年度から配置。配置要望のある学校に対し年次計画で支援員を配置
 ・平成22年度 小学校10名 → ・平成23年度 小学校15名に増員
- ◎ ② 校舎等の整備 332,033千円
 ◎ 通学路改修事業費（花園小）（④建設P4） 25,000千円
 校門から校舎へ至る通路の幅員拡幅及び歩車道分離
 ・ 耐震補強及び大規模改造等事業費（花園小、潮見台小）（④建設P4） 267,033千円
 校舎・屋体の大規模改造及びグラウンドの設計及び改修等
 ・ 大規模改造等事業費（桜町中）（④建設P5） 40,000千円
 校舎の大規模改造
- ☆ ③ 教育支援活動推進事業費補助金(⑥負担金補助P8) 855千円
 平成22年度まで実施している「おたる地域子ども教室」「小樽市学校支援地域本部事業」を統合し全小学校で実施できる体制を構築
 ・ 活動日時 土曜日午前中、平日の放課後（始業前含む）
 ・ 活動内容 登下校時の安全指導、学校行事支援、学校環境整備、授業等の学習補助
 スポーツや文化芸術の体験活動、昔遊びや様々な遊び 等
- ◎ ④ 新光共同調理場調理等業務委託料(③行政P17) 82,000千円
 学校給食新光共同調理場における調理業務等を民間事業者へ委託
 （平成20年8月 学校給食オタモイ共同調理場民間委託開始）
- ◎ ⑤ 新共同調理場土地取得事業費(④建設P5) 200,000千円
 新光・オタモイ両共同調理場を統合し新築する新共同調理場の建設敷地を取得
- ☆ ⑥ 特別展開催経費(美術館)(③行政P18) 7,824千円
 「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」
 ・ 開催期間：平成23年5月21日～7月10日
 ※小樽美術館含む全国4美術館で共同巡回展を開催

2 ともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

- ☆ ① 子ども手当経費(③行政P8) 1,990,350千円
次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資するため、子どもを養育している方に支給
・0歳から15歳到達後最初の年度末まで 13,000円/月・人
(平成23年度分について3歳未満を 20,000円/月・人へ拡大)
- ☆ ② 成年後見制度利用支援事業費(③行政P6、⑨介護) 15,180千円
一般会計2,818千円、介護保険事業特別会計12,362千円
平成22年度より小樽市社会福祉協議会が開設した「小樽・北しりべし成年後見センター」の相談
等件数増に対応する職員増員への財政支援拡大と低所得者に対する後見人報酬を助成
- ◎ ③ 高齢者保健福祉計画等策定事業費(③行政P5) 600千円
3年ごとに見直しを行う高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について、平成24年～26年を対
象年度とする第5期計画を策定
- ④ 介護基盤緊急整備特別対策事業交付金(⑥負担金補助P2) 101,500千円
平成21～23年度の間、経済危機対策のため、介護基盤の緊急整備として国の交付金を受けた北海
道が基金を造成し、地域密着型サービス拠点整備の際の交付金を交付
・地域密着型介護老人福祉施設(小規模特別養護老人ホーム) 1か所(29人)
- ☆ ⑤ 地域包括支援センター運営事業費(⑨介護) 84,000千円
市内3箇所(東南部、中部、北西部)の地域包括支援センターの3職種(保健師、社会福祉士、主
任ケアマネジャー)を増員し、体制を強化
- ☆ ⑥ 通所型介護予防事業費(⑨介護) 3,200千円
二次予防事業対象者把握事業で把握された高齢者に対して、スポーツクラブへ委託し、介護予防
プログラムを総合的に実施
・定員60名 → ・定員120名へ拡大
- ⑦ 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業費(③行政P9) 184,900千円
法定接種化が検討されている子宮頸がん等ワクチンについて、対象年齢層へ緊急にこれらの予防
接種を提供し健康維持を促進
- | | | |
|------|-------------|------------------|
| ・対象者 | 子宮頸がん予防ワクチン | 中学1年生～高校1年生相当の女子 |
| | ヒブワクチン | 2ヶ月～4才の乳幼児 |
| | 小児用肺炎球菌ワクチン | 2ヶ月～4才の乳幼児 |

⑧ がん検診推進事業関係

80,000千円

女性特有のがん検診推進事業費(③行政P10)

19,000千円

特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となる「がん検診無料クーポン券」を送付し、がん検診の受診を促進

子宮頸がん 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳

乳がん 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳

各種がん検診(健康診査事業費のうち)(③行政P10)

61,000千円

職場で検診を受ける機会のない自営業の方、主婦、高齢者などで40歳以上の市民を対象としたがん検診と20歳以上の女性を対象とした子宮がん検診を実施

- ・検診種別 40歳以上の方 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診(女性のみ)
- 20歳以上の女性 子宮がん(子宮頸がん)検診

3 安全で快適な住みよいまち(生活基盤)

① 配水管整備及び改良工事(⑫水道)

879,965千円

・配水管整備工事 市内一円配水管布設 L=6,220m

411,568千円

・改良工事(老朽施設等改良工事ほか)

468,397千円

豊倉浄水場機械設備更新、配水施設更新 ほか

② 污水管整備及び処理場・ポンプ場の更新(⑬下水道)

1,253,535千円

・污水管整備

185,000千円

銭函地区新設(L=278m)、勝納地区更新(L=197m)ほか

・処理場の更新(中央、銭函、蘭島処理場)

825,535千円

水処理施設外 電気設備更新 ほか

・ポンプ場の更新

243,000千円

船浜汚水中継ポンプ場 機械設備更新 ほか

☆ ③ 臨時市道整備事業費(④建設P3)

453,500千円

・市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施

400,000千円

平成23年度整備予定 35路線

・(学校再編関連)花園小と潮見台小通学路の歩道設置及び側溝改良等を実施

53,500千円

4 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

- ① 忍路漁港整備関連事業関係 9,700千円
若手漁業後継者の育成が進む本市の忍路漁港地区では、係船用の岸壁が不足しており、また、日本海特有の冬季波浪により、漁船安全係留に支障をきたしていることから、円滑な漁業活動、安全及び快適な漁業就業環境の創出を図るため、新たに本漁港の整備を推進するとともに関連2事業を実施
- ◎ 忍路漁港整備道直轄工事費負担金（④建設P1） 3,200千円
西防波堤・西護岸・物揚場・船揚場の新設等（平成23～26年度）
平成23年度：測量、調査、設計
※道直轄事業 平成23年度事業費 40,000千円（うち市負担 8/100=3,200千円）
- ◎ 市道忍路湾海岸通線雨水側溝敷設事業費（④建設P1） 4,500千円
忍路漁港に隣接する市道の側溝が自然の排水溝であり、堆積物等の影響により周辺住宅地への洪水被害の恐れがあるため改良（平成23年度）
・落盤側溝新設 L=58m、柵盤設置 L=25m取替、柵設置 2基、横断暗渠 7m取替
※市事業 平成23年度事業費 4,500千円（道補助金2,700千円、市負担1,800千円）
- ◎ 忍路区域藻場造成事業費（④建設P1） 2,000千円
石灰藻の繁殖により、ウニやアワビの餌となるコンブ等の生育に影響を及ぼしていることから、岩盤を覆う石灰藻を除去し、コンブ等の発生しやすい環境へ改善（平成23～24年度）
平成23年度：石灰藻剥離 3地区 A=450㎡
※市事業 平成23年度事業費 2,000千円（道補助金1,200千円、市負担800千円）
- ② 新規高等学校卒業者雇用奨励金（③行政P10） 16,000千円
平成23年3月に道内の高等学校を卒業した者を雇い入れた事業所に対し、6か月以上の雇用を条件に奨励金を交付
・対象事業所 ①市内の事業所であって、雇用保険適用事業所であること
②市内に本社・本店がある事業所又は市内に本社・本店は無いが、企業全体の従業員が100人以下の事業所
③期限の定めのない正規職員として雇用すること
④雇用した日の6か月前から奨励金の交付申請までに、事業所の都合により正規職員を解雇したことがないこと
⑤市税の滞納がないこと
・対象となる者 平成23年3月に道内の高等学校を卒業し、交付申請時に市内に住民登録がある者
・奨励金交付額 200,000円/人
- ☆ ③ 外国人観光客おもてなし推進事業費（③行政P13） 9,000千円
市内3か所の観光案内所に外国語対応の職員をローテーション体制で配置
・平成22年度 英語及び中国語対応職員2名配置
・平成23年度 韓国語対応職員1名追加配置

- ④ 中小企業倒産防止共済掛金助成金(⑥負担金補助P6) 3,000千円
 市内中小企業者の連鎖倒産を防止するため、取引先の倒産の際に迅速に貸付を受けられる「中小企業倒産防止共済」の新規加入を促すことを目的に、当該掛け金を助成(平成22年度より)
 ・助成対象 独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する中小企業倒産防止共済に新規に加入する中小企業者で6か月以上掛け金を支払った者
 ・助成金額 掛け金の1/2の額 月額上限20,000円、最大6か月分を助成
- ◎ ⑤ 小樽商科大学創立100周年記念事業補助金(⑥負担金補助P6) 3,000千円
 平成23年度に小樽商科大学が創立100周年を迎えるにあたり、市内関係機関と連携し、来樽する卒業生や企業関係者に喜んでもらえるよう、小樽の街全体の歓迎ムードを盛り上げ、地域経済活性化に資することを目的として組織される実行委員会に対し事業費を助成
- ⑥ 東アジア圏観光客誘致事業費補助金(⑥負担金補助P7) 2,100千円
 東アジア圏からの外国人観光客の誘致の取組として、ニセコ・倶知安との連携で中国の航空会社や旅行会社を招聘し、航空機内誌への記事掲載と旅行商品の造成を働きかけ、中国人観光客の誘致を促進
- ☆ ⑦ 小樽ショートフィルムセッション開催補助金(⑥負担金補助P7) 1,300千円
 小樽における撮影の協力体制や優れたロケーションを広く発信するとともに、FC活動の市民周知や啓発、FC活動による地域の活性化を目的としてショートフィルムコンテストを開催
 ・平成21年度 第1回開催
 ・平成23年度 出品作品の増加を図るためワークショップを開催
- ⑧ 国直轄工事費負担金(北防波堤改良事業費)(④建設P2) 45,000千円
 平成21年度まで：調査・設計、漁業補償、根固工(L=300m/港外)、被覆工(L=32m/港外、L=280m/港内)
 平成22年度：根固工(L=75m/港外)、被覆工(L=75m/港内)
 平成23年度：根固工(L=160m/港外)、被覆工(L=160m/港内)
 ※国直轄事業 平成23年度全体工事費 300,000千円
- ⑨ 第3号ふ頭周辺利用高度化事業関係 183,000千円
 現状の荷役作業との協調を図りながら、クルーズ客船対応としての環境整備や物流・交流空間としての基盤整備を進め、第3号ふ頭周辺地域における利用高度化を推進
- 合同庁舎周辺整備事業費(④建設P2) 72,000千円
 ・第3埠頭中央線 道路改良 L=100m、第2埠頭中央線 道路改良 L=40m
- 第3号ふ頭岸壁改良事業費(④建設P2) 91,000千円
 ・14番岸壁上部工 L=75m、付属工
- ◎ 旧合同庁舎跡地整備事業費(④建設P2) 20,000千円
 ・多目的広場として整備 敷地内舗装等 A=5,600m²

- ⑩ フェリー航路利用促進事業費補助金(⑥負担金補助P7) 15,000千円
 経済不況や高速道路料金の割引などの影響により、利用低迷が続くフェリー航路の維持と活性化を図るため、有人乗用車を対象とした利用促進事業に対して助成
- ・対象 新潟発→小樽着便の有人乗用車
 - ・期間 平成23年6月及び9～11月
 - ・事業内容 1台あたり、買物券 2,000円、小樽物産引換券 1,000円、コーヒー券を配布
- ⑪ 姉妹都市提携委員会交付金(⑥負担金補助P1) 2,100千円
- ・姉妹都市提携45周年記念ナホトカ市使節団歓迎事業 平成23年10月下旬(予定)
 - ・ダニーデン市少年少女使節団歓迎事業 平成23年7月下旬(予定)
 - ・少年少女使節団ダニーデン市派遣事業 平成23年8月上旬(予定)
 - ・韓国語会話集作成事業

5 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち(環境保全)

- ① 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金(⑥負担金補助P1) 1,297,146千円
 北しりべし廃棄物処理広域連合(小樽市、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村)によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費
- ☆ ② 不法投棄・散乱ごみ監視等業務(不法投棄等対策関連経費のうち)(③行政P3) 4,270千円
 環境省の「地域グリーンニューディール基金」を活用し、不法投棄等対策として市内20か所で夜間パトロールを実施
- ・実施期間 (平成22年度) 6月から11月まで 週5日(水曜日から日曜日まで)の夜間
 → (平成23年度) 5月から11月まで 毎日の夜間へ拡大
- ③ 使用済家具類のリサイクル推進事業費(③行政P4) 5,065千円
 使用済みの家具類でリサイクル可能なものを収集し、簡単な補修等を加え展示し、希望者へ無償で譲与
- ④ し尿処理施設整備事業費(④建設P1) 2,000千円
 現し尿処理場の老朽化に伴い、中央下水終末処理場でのし尿・浄化槽汚泥の下水との一体化処理を目的とした、受入施設建設に向けての事業認可に必要な経費
- ・平成22年度 基本調査及び基本設計
 - ・平成23年度 公共下水道事業計画変更認可設計

- ◎ ⑤ 公園施設長寿命化計画策定調査費(④建設P3) 8,000千円
 老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を計画的に行うための「公園施設長寿命化計画」を策定(平成23~24年度)
 平成23年度:計画準備、現地調査、健全度(危険度)判定
 平成24年度:修繕(改築)計画策定、施設保全計画策定
- ◎ ⑥ (仮称)南小樽地区街区公園整備事業費(④建設P3) 24,000千円
 南小樽周辺地域の子どもの遊び場や市民の憩いの場を確保するため旧商工会館跡地を街区公園として整備

【その他の施策】

- ① 執行が予定される選挙にかかる経費 114,000千円
- ◎ 知事及び道議会議員選挙費(平成23年4月10日執行予定)(③行政P19) 37,000千円
- ◎ 市長及び市議会議員選挙費(平成23年4月24日執行予定)(③行政P19) 77,000千円
- ② 自治基本条例検討事業費(③行政P2) 400千円
 自治基本条例制定に向け、「自治基本条例策定委員会」を設置し、素案の検討を行うほか、ワークショップやフォーラム等を開催
 ・自治基本条例策定委員会 学識経験者、各種団体推薦、市民公募などで構成
- ③ 定住自立圏構想推進経費(③行政P2) 160千円
 平成22年11月に策定した「北しりべし定住自立圏共生ビジョン」に基づき中心市及び周辺町村が役割分担した下で連携して実施される具体的な取組を検討
- ・ 中心市宣言 平成21年9月15日
 - ・ 定住自立圏形成協定締結 平成22年4月1日
 - ・ 北しりべし定住自立圏共生ビジョン策定 平成22年11月29日